白鳥小学校だより

羽曳野市立白鳥小学校
令和８年８・９月号

校長　池上 秀数

災害に備え、命を守る力を

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。夏休みの間、ご家庭や地域でさまざまな経験を重ね、一回り成長した子どもたちの姿をうれしく感じています。

さて、この夏、私たちは自然災害の恐ろしさを改めて感じる出来事を経験しました。７月２８日には熊本県で大きな地震が発生し、最大震度７を観測しました。また８月には千葉県で記録的な大雨となり、大雨特別警報が発表されるなど、大きな被害が生じました。

これらの災害は、「災害はいつ、どこで起こるかわからない」ということを私たちに改めて教えてくれています。

学校では、これまでも地震や火災、不審者などを想定した避難訓練を行ってきました。避難訓練では、避難の仕方を覚えるだけでなく、「自分の命を自分で守る」という意識を育てることが大切です。

例えば、地震が起こったときにはどうすればよいのか。大雨で道路に水があふれているときにはどうするのか。家にいるとき、登下校中、学校にいるとき、それぞれどのような行動をとればよいのか。

こうしたことを、災害が起こってから考えるのではなく、日頃から家族で話し合っておくことが大切です。「どこに避難するのか」「家族との連絡をどうするのか」「危険な場所はどこなのか」など、ぜひこの機会にご家庭でも確認してみてください。

防災は特別なことではありません。自分の命を守ること、そして周りの人の命を大切にすることです。子どもたちが「自分の身は自分で守る」力を身につけるとともに、困っている人に声をかけたり、周りの人と協力したりすることのできる人に育ってほしいと願っています。

２学期には、さまざまな学校行事や学習活動が予定されています。一つ一つの活動を大切にしながら、子どもたちが安心して学校生活を送り、友だちと関わる中でさらに成長できるよう取り組んでまいります。

まだまだ厳しい暑さが続きます。体調管理にも十分留意しながら、実りの多い２学期にしていきたいと思います。保護者のみなさま、地域のみなさまには、引き続き本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。